

除菌

removing bacteria

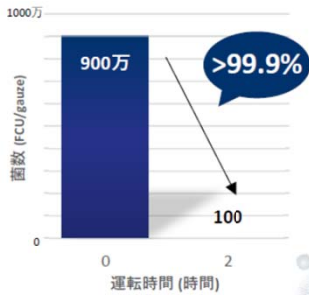
多剤耐性菌等の付着菌

99.9% 除去

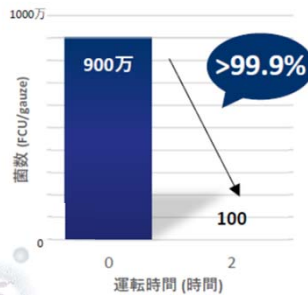
マイクロプラズマ放電技術

マイクロプラズマ放電は小型薄型のフラット電極による放電方式で、生成された酸素クラスターイオンが菌を包み込み、表面に変性を与えることで除菌します。
大学機関との共同研究において、院内感染原因となりやすい薬剤耐性菌を含む数種の菌に対し、最大99.9%の除去効果を実証いたしました。

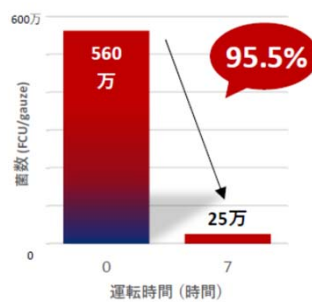
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌



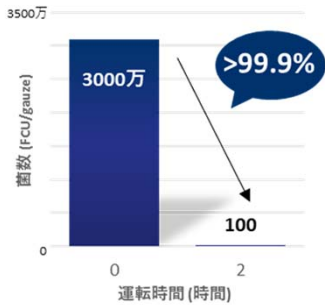
薬剤耐性緑膿菌



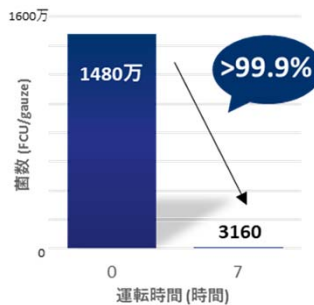
非結核性抗酸菌



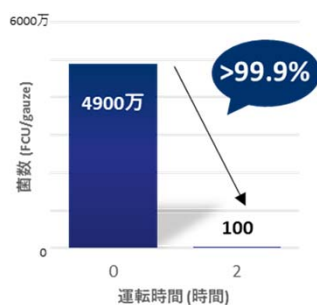
薬剤耐性 アシネトバクター



セレウス菌



大腸菌



試験方法：(一社)日本電機工業会規格 (JEM1467) の性能評価試験にて実施。滅菌ガーゼに染み付いた菌に対する2~7時間後の効果。
※マイクロプラズマ放電技術には付着菌を抑制する機能はありますが、感染予防を保証するものではありません。

当社独自のマイクロプラズマ放電技術は従来の放電方式と比べオゾン生成が少なく、第三者機関における生体への安全性も確認されているため、医療機関や介護施設等における有人空間への除菌対策として注目されています。

KALMOR

抗ウイルス

antiviral

付着 インフルエンザウイルス

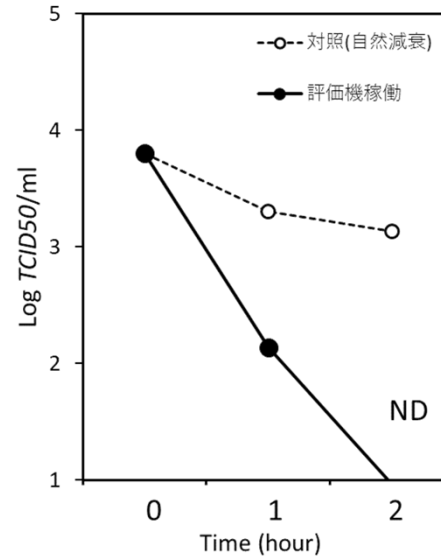
99% 除去

マイクロプラズマ放電技術

マイクロプラズマ放電は小型薄型のフラット電極による放電方式で、生成された酸素クラスターイオンがウイルスを包み込み、表面に変性を与え不活化させます。

評価機を最大2時間運転し、空気イオンを供給した空間における付着インフルエンザウイルスの不活化効果を対象(自然減衰)と比較してウイルス感染価の減少率を算出しました。
検証実験の結果、空気イオンを供給しつづけた空間(オゾン濃度0.01ppm未満)において、付着インフルエンザウイルスが2時間で99.31%以上不活化することを確認しました。

<マイクロプラズマ放電による付着ウイルスに対する抗ウイルス効果>



運転 1時間後

抗ウイルス効果

✓ **93%以上**

運転 2時間後

抗ウイルス効果

✓ **99%以上**

試験協力：東邦大学 看護学部・感染制御学 小林真詔教授 / 北海道医療大学 医療技術学部・微生物学 松尾淳司教授
試験方法(装置)：JEM1467「家庭用空気清浄機」 付属書E「室内付着ウイルスに対する抑制性能評価試験」を参考。
※本試験結果による効果であり、実空間での効果を保証するものではありません。また、感染予防を保証するものではありません。

当社独自のマイクロプラズマ放電技術は従来の放電方式と比べオゾン生成が少なく、第三者機関における生体への安全性も確認されているため、医療機関や介護施設等における有人空間への抗ウイルス対策として注目されています。

KALMOR